

## 循環器疾患と薬剤治療

責任者・コーディネーター	薬剤治療学分野 三部 篤 教授		
担当講座・学科(分野)	薬剤治療学分野		
対象学年	3	区分・時間数	講義 21 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

代表的な循環器疾患、アレルギー免疫疾患および呼吸器疾患に対する薬剤治療戦略、使用薬剤に関する代表的な副作用と適用上の注意点、薬剤相互作用などについて解説する。また、代表的な処方为例にとり、薬剤による治療解析の意味を総合的に考える能力を養う。

### ・教育成果（アウトカム）

代表的な循環器疾患、アレルギー免疫疾患および呼吸器疾患の病態、治療薬剤の特徴、使用上の問題点を習得することにより、これら疾患の治療戦略を理解し、説明できるようになる。  
(ディプロマ・ポリシー：2,4)

### ・到達目標（SBO）

1. 循環器疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明でき、かつ最新の治療技術を紹介できる。（☆）
2. 上室性期外収縮（PAC）、心室性期外収縮（PVC）、心房細動（Af）、発作性上室頻拍（PSVT）、WPW 症候群、心室頻拍（VT）、心室細動（VF）、房室ブロック、QT 延長症候群について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。
3. 急性および慢性心不全について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。（☆）
4. 虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。（☆）
5. 本態性高血圧症、二次性高血圧症（腎性高血圧症、腎血管性高血圧症を含む）について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。以下の疾患について概説できる。
6. 閉塞性動脈硬化症（ASO）、心原性ショック、弁膜症、先天性心疾患について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。
7. 抗血栓薬、抗凝固薬および血栓溶解薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）および臨床適用を説明できる。（☆）
8. 鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血(悪性貧血等)、再生不良性貧血、自己免疫性溶血性貧血（AIHA）、腎性貧血、鉄芽球性貧血について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。
9. 播種性血管内凝固症候群（DIC）について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。

10. 血友病、血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）、白血球減少症、血栓塞栓症について治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。
11. 利尿薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）および臨床適用を説明できる。
12. 過活動膀胱および低活動膀胱について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。
13. 気管支喘息について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。
14. 慢性閉塞性肺疾患および喫煙に関連する疾患（ニコチン依存症を含む）について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。
15. 間質性肺炎について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。
16. 抗炎症薬（ステロイド性および非ステロイド性）および解熱性鎮痛薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）および臨床適用を説明できる。
17. 抗炎症薬の作用機序に基づいて炎症について説明できる。
18. アレルギー治療薬（抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬等）の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）および臨床適用を説明できる。
19. 免疫抑制薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）および臨床適用を説明できる。
20. アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、接触性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。
21. 特発性血小板減少性紫斑病、自己免疫性溶血性貧血、シェーグレン症候群について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。
22. 全身性エリテマトーデス、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。
23. 関節リウマチについて、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。

・講義日程

(矢) 東 103 1-C 講義室

クラス	月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
	9/4	火	1	薬剤治療学分野	三部 篤 教授	高血圧治療薬 1. 本態性高血圧症、二次性高血圧症について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。
	9/11	火	1	薬剤治療学分野	三部 篤 教授	抗不整脈薬その1 1. 不整脈について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。
	9/18	火	1	薬剤治療学分野	三部 篤 教授	抗不整脈薬その2 1. 不整脈について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。

	9/25	火	1	薬剤治療学分野	三部 篤 教授	心不全治療薬その1 1. 心不全について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。
	10/2	火	1	薬剤治療学分野	三部 篤 教授	心不全治療薬その2 1. 心不全について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。
	10/9	火	1	薬剤治療学分野	三部 篤 教授	虚血性心疾患治療薬 1. 虚血性心疾患について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。
	10/16	火	1	薬剤治療学分野	三部 篤 教授	演習 1. 高血圧、不整脈、心不全および虚血性心疾患に関する病態生理学的知識および薬物治療学的知識を身に付け、説明できる
	10/23	火	1	薬剤治療学分野	三部 篤 教授	血栓症治療薬その1 1. 抗血栓薬、抗凝固薬および血栓溶解薬の薬理および臨床適用を説明できる。
	10/30	火	1	薬剤治療学分野	三部 篤 教授	血栓症治療薬その2 1. 貧血および血球成分が関わっている疾患について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。
A	11/6	火	1	薬剤治療学分野	三部 篤 教授	免疫アレルギー疾患治療薬その1 1. 免疫およびアレルギーが関わる疾患について、薬理および臨床適用を説明できる。
B	11/13	火	1	薬剤治療学分野	三部 篤 教授	免疫アレルギー疾患治療薬その1 1. 免疫およびアレルギーが関わる疾患について、薬理および臨床適用を説明できる。
	11/20	火	1	薬剤治療学分野	三部 篤 教授	免疫アレルギー疾患治療薬その2 1. 免疫およびアレルギーが関わる疾患について、薬理および臨床適用を説明できる。
	11/27	火	1	薬剤治療学分野	三部 篤 教授	呼吸器・胸部の疾患治療薬その1

						1. 呼吸器が関わる疾患について、薬理および臨床適用を説明できる。
	12/4	火	1	薬剤治療学分野	三部 篤 教授	呼吸器・胸部の疾患治療薬その2 1. 呼吸器が関わる疾患について、薬理および臨床適用を説明できる。
	12/11	火	1	薬剤治療学分野	三部 篤 教授	演習 1. 血液関連疾患、免疫アレルギー疾患および呼吸器疾患に関する病態生理学的知識および薬物治療学的知識を身に付け、説明できる。

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	薬がみえる vol.3 第1版	医療情報科学研究所 編	メディアメディック	2016
教	病気がみえる vol.2 循環器 第4版	医療情報科学研究所 編	メディアメディック	2017
教	病気がみえる vol.5 血液 第2版	医療情報科学研究所 編	メディアメディック	2017
教	病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 第1版	医療情報科学研究所 編	メディアメディック	2009
教	病気がみえる vol.4 呼吸器 第2版	医療情報科学研究所 編	メディアメディック	2013
教	薬がみえる vol.1 第1版	医療情報科学研究所 編	メディアメディック	2014
教	薬がみえる vol.2 第1版	医療情報科学研究所 編	メディアメディック	2015
参	治療薬マニュアル 2018	高久史磨ら 編集	医学書院	2018

・成績評価方法

定期試験の結果（100％）で評価する。

・特記事項・その他

予習としては、教科書の授業内容の項目を読んでおくこと。  
復習としては、授業での配付資料を用いてまとめること。さらに、演習で行った問題をよく調べ、理解すること。授業に対する事前学修（予習・復習）の時間は最低 30 分を要する。  
授業出欠カードには自由記載欄があり、教員への質問や要望を伝えることができる。質問の解答は、質問を受けた次の週の講義終了後に対応する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	コンピューター	1	講義スライドの映写